

別冊

地域県土警察常任委員会資料

(令和5年8月21日)

[件 名]

■ 「とっとり若者活躍局」の発足について

【県民参画協働課】・・・ 2ページ

地域社会振興部

「とっとり若者活躍局」の発足について

令和5年8月21日
県民参画協働課

次世代を担う若者たちが自発的かつ自由な発想で、地域課題解決や地域活性化、地域の魅力発信等の活動を行う「とっとり若者活躍局」が下記のとおり発足しました。

若者活躍の象徴として「とっとり若者活躍局」の活動を支援するとともに、この活動を通して持続可能な地域づくり及び人づくりにつなげていきます。

記

1 「とっとり若者活躍局」の概要

- (1) メンバー 県内在住の高校生、大学生、社会人（39歳以下の者） 37名
- (2) 活動内容
 - ・子育て・移住定住など人口減少対策や、地域課題解決に向けたプロジェクトの企画・実施
 - ・県庁内の「とっとり未来創造タスクフォース」との意見交換・連携
 - ・地域の若者との交流会や知事・県幹部職員との意見交換 等

2 発足式及び第1回定例会議の概要

- (1) 日 時 令和5年8月20日（日）13時から17時まで
- (2) 場 所 SANDBOX TOTTORI（鳥取市浜坂1390-224）
- (3) 出席者 とっとり若者活躍局メンバー 32名（オンライン出席者含む）
知事、とっとり未来創造タスクフォース

- (4) 内 容
 - ・任命書の交付
 - ・代表者の決意表明
 - ・知事からの激励
 - ・とっとり未来創造タスクフォースによる課題プレゼン
 - ・とっとり若者活躍局メンバーによるアイデア交換



- (5) 第1回定例会議での主な意見
 - ・学生同士が交流できる場所を駅周辺に作るなど、中学生、高校生、大学生にとって鳥取が楽しいところだと感じられる活動に取り組みたい。（高校生）
 - ・鳥取で自己実現できたと思っている人は定住につながっている実感がある。次の世代が知らない選択肢を伝えることに取り組みたい。（大学生）
 - ・鳥取県の魅力を情報発信し、他の県との差別化、鳥取県のイメージアップを図りたい。（大学生）
 - ・仕事や働く場所がないから住み続けられないとの声が多い。学生のうちから仕事づくりが体験できる機会をつくりたい。（社会人）
 - ・若い世代が鳥取に住み続けたいと思えるよう、人とのつながり、自然、子育てなど豊かな暮らしをしていくためにはどうしていくのかよいか、議論し実践する場としたい。（社会人）

3 今後の予定

- | | | |
|------|------|----------------------------------|
| 令和5年 | 9月 | 課題意識の共有、プロジェクトの方向性検討 |
| | 10月～ | 各プロジェクトチームによる活動、全体定例会議の開催（月1回程度） |
| | 11月 | 知事・県幹部職員との意見交換 |
| 令和6年 | 3月 | 活動報告会 |